



市民の感染防止に役立てて

御前崎ライオンズクラブの竹内浩会長が5月15日、市役所を訪れてマスク1万枚を市に寄付しました。

竹内会長は「市内でマスクが足りていないところにくまなく配布してほしい。新型コロナウイルスの脅威は現在、下火になりつつある。しかし、第2波、第3波の到来が予想されている。これから学校が再開されるため、児童生徒にも渡してほしい」と依頼しました。

◀「今は動くことが大切」と話した竹内会長



子どもに国際交流の機会を

公益のために多額の寄付をした個人や団体に対し、国から授与される「紺綬褒章」の伝達式が5月25日、市役所で執り行われました。褒章を受けたのは、株式会社望月塗工(望月勲代表取締役)。市の国際交流事業に対して昨年6月、1000万円を寄付してくださいました。望月さんは「外国人と渡り合い、次世代を担うような人材に育てほしい」と思いを語りました。

◀柳澤市長から褒章を手渡される望月代表取締役



自然や文化に触れ愛着育む

青少年リーダー育成事業「御前崎クエスト」が5月30日、あらさわふる里公園で実施されました。小学3年生から中学3年生までの約50人が参加。NPO法人アース・コミュニケーションの川口真矢代表の案内で園内を散策しながら親睦を深めました。

箭内蒼甫くん(中町)は「新しい友達をたくさん作れてうれしい」と声を弾ませました。

◀展望台からの眺めを楽しむ参加者



参加者とスタッフがー丸に

「第21回静岡県市町対抗駅伝競走大会」に向け、第1回御前崎市駅伝練習会が6月3日、浜岡総合運動場で開催されました。参加者は、小学4年生以上の市内在住・在勤者や市内出身の約50人。12月5日の大会に向けて練習がスタートしました。清水樂監督は「一つの目標に向かい世代を超えて走ることを何より大切にしたい」と同大会に出場する意義を語りました。

◀市の部で20位以内を目指して練習に励む参加者